日本の地域経済 I

科目ナンバリング ECP-217
選択 2単位

石川 義孝

1. 授業の概要(ねらい)

厳しいグローバル化の影響を受けつつ、独自の展開を見せる日本経済の地域的展開のしくみ、および、東京一極集中や地方の衰退など、格差拡大がいわれる経済地域の実態を動態的、具体的に示す。また、これらに関する経済地域政策のあり方についても、論じる。さらに、過去半世紀における時系列的な変化についても、可能な限り概説する。

2. 授業の到達目標

日本の地域経済についての雑誌・新聞などの経済記事を読み解き、経済学的に考えて行動するための基礎力を習得する。

3. 成績評価の方法および基準

授業の理解度を確認するための小テストを50%、最後の授業で行う試験を50%として、その合計で評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

竹内淳彦・小田宏信 日本経済地理読本(第9版) 東洋経済新報社
春期に第1～3章、秋期に第4～6章を使います。

5. 準備学修の内容

教科書を指定していますので、予習や復習をして、授業に臨んでいただくのが望ましいです。

6. その他履修上の注意事項

春期と秋期を連続で受講していただくのが、望ましいです。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業の進め方
- 【第2回】 グローバル化のなかの地域と経済(1)
- 【第3回】 グローバル化のなかの地域と経済(2)
- 【第4回】 経済活動の地域構造(1)
- 【第5回】 経済活動の地域構造(2)
- 【第6回】 経済活動の地域構造(3)
- 【第7回】 経済活動の地域構造(4)
- 【第8回】 経済活動の地域構造(5)
- 【第9回】 東京圏(1)
- 【第10回】 東京圏(2)
- 【第11回】 京阪神圏(1)
- 【第12回】 京阪神圏(2)
- 【第13回】 中京圏(1)
- 【第14回】 中京圏(2)
- 【第15回】 春期のまとめと試験